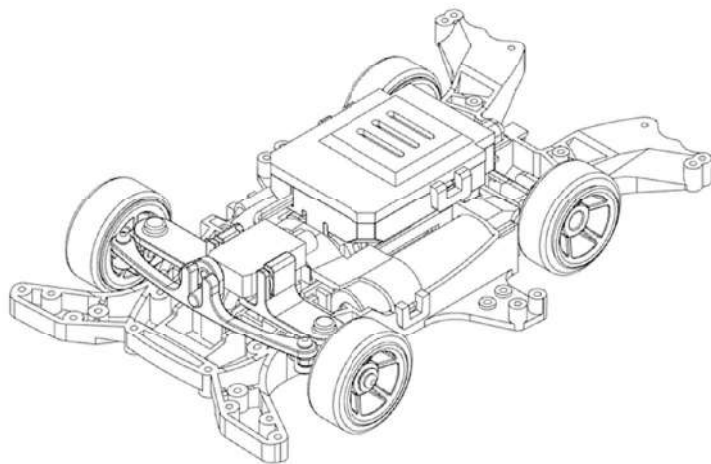


ラジポンドッシュ！！ 組立て手順書



■改訂履歴

第1版 (2021/09/01) : 初版発行

第1-1版 (2021/09/03) : 注意文に追記 (車模型本体は付属していない旨)

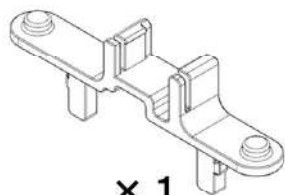
第1-2版 (2021/09/07) : 【2】 1(L)、ねじを通す穴の矢印、R側ねじ小の不要な線を修正
【5】 【8】 【9】 電池金具・スイッチ金具の絵を追加

■注意！はじめにお読みください

- 車模型本体は付属されていませんので、別途ご用意ください。
(対応シャーシ：MAタイプ、ローハイトタイヤのみ)
- ドライバーを使う際には注意してください。
- 誤飲防止の為、小さなお子様のいる近くで工作しないでください。
- 製品には機能上とがっている部分があります。取扱いに注意してください。
- 高温下の場所に放置しないでください。
- 強い衝撃を加えないでください。
- 室内仕様のため、室外では走らせないでください。
- 回転しているタイヤに手・髪・服などを巻き込まないように注意してください。
- 故障・加熱・ショートによる発火の危険があるため、基板やサーボモーターを分解しないでください。
- 連続使用時間は10分以下とし、使用間隔は5分以上あけてください。
- 断線の恐れがあるため、フレキケーブルを折り曲げないでください。
- 断線の恐れがあるため、サーボモーターのコネクタを基板から取り外す際はコネクタ部を持って取り外してください。
- 故障の原因となるため、フレキケーブルとサーボモーターそれぞれのコネクタを基板に接続する際は、コネクタの接続方向を正しく取り付けてください。
- ノーマルモーターのみを使用してください。
- 故障の原因となるため、通電中は基板を直接手で触らないでください。
- 故障の原因となるため、回転しているタイヤを無理に止めないでください。
- 故障の原因となるため、車輪についたゴミなどはきれいに取り除いてください。
- ホイールの回転が悪くなったら、樹脂カラーの外側にグリスを塗布しなおしてください。
- 使用していると基板が熱くなります。やけどの恐れがあるため、触らないように注意してください。
- 水気があるところで走らせないでください。
- 部品を取り外す際は、「組立て手順書」を参照してください。
- 部品が破損したらただちに使用を止めてください。
- 使用後はラジポンドッシュ！！本体のスイッチを切ってください。

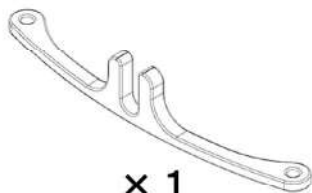
■ 内容物一覧

A



× 1

B



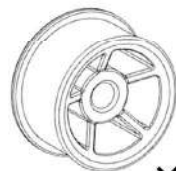
× 1

C



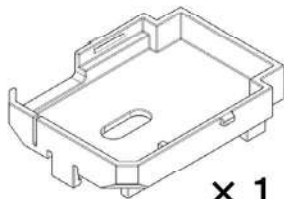
× 1 × 1

D



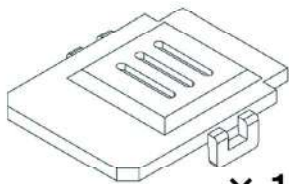
× 2

E



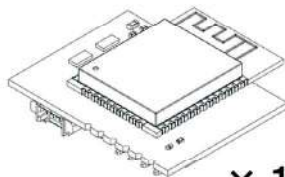
× 1

F



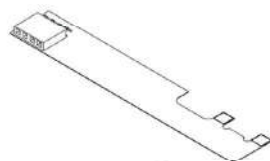
× 1

マイコン基板



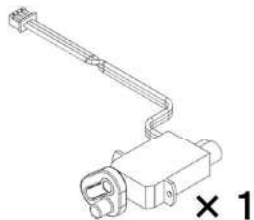
× 1

フレキケーブル



× 1

サーボモーター



× 1

ねじ大



× 2

ねじ小



× 4

六角ナット



× 2

樹脂カラー



× 2

ワッシャ

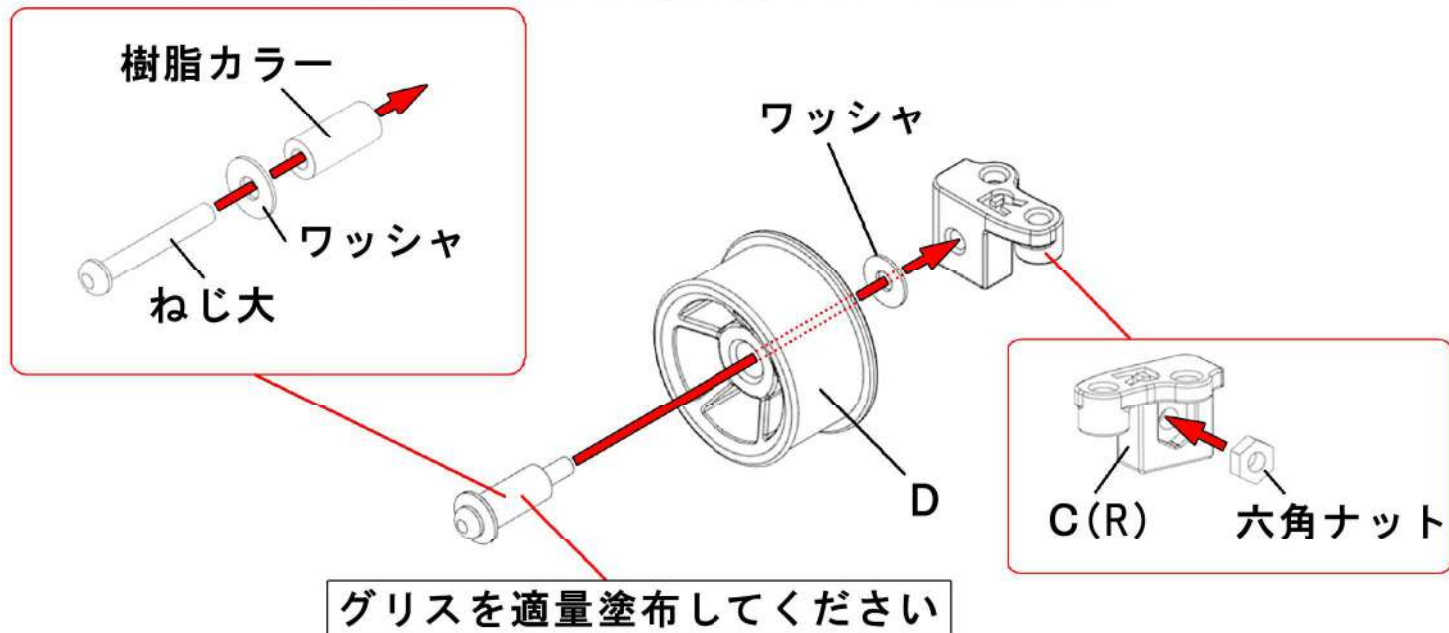


× 4

1

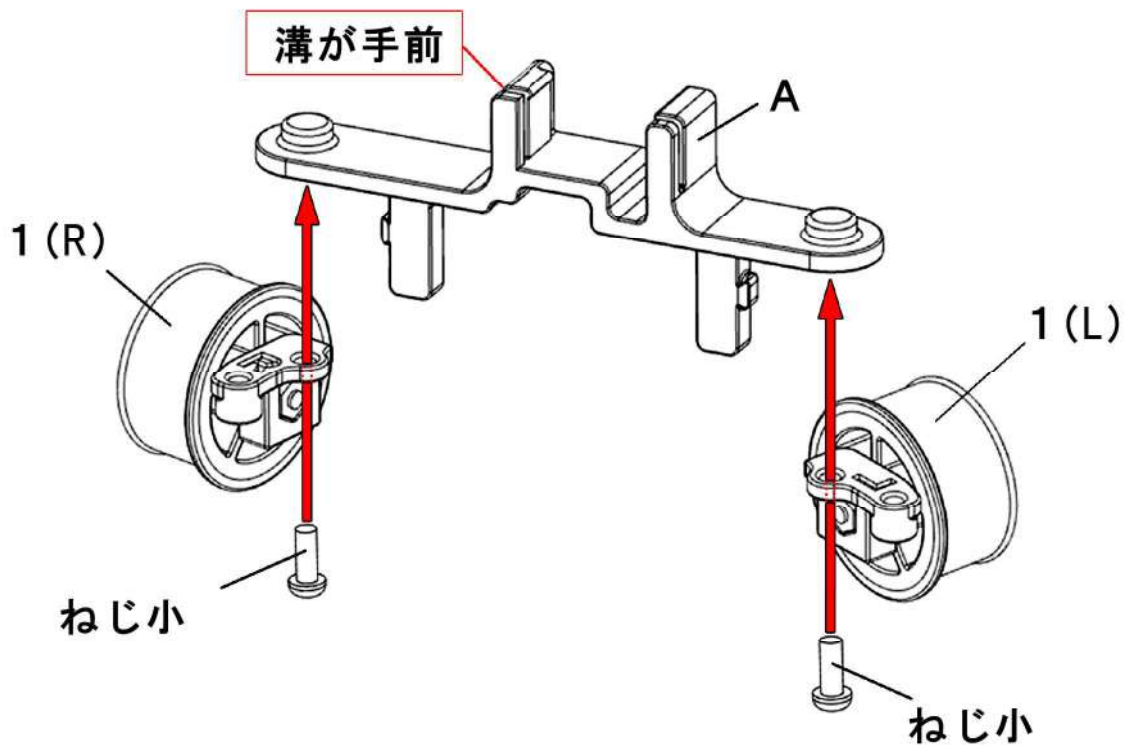
R側の組み立て

- ①ねじ大,ワッシャ,樹脂カラーを組み合わせます。
 - ②C(R)の溝に六角ナットを取り付けます。
 - ③C(R)とDの間にワッシャを挟み①と組みます。
- L側も同じ手順で組み立てます。



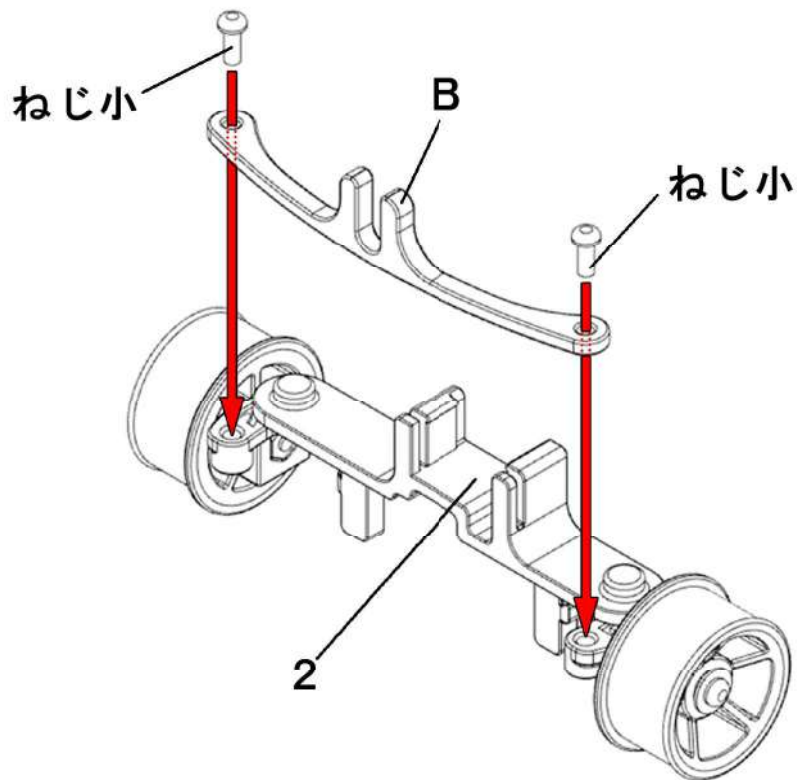
2

Aに1（L，R）をねじ小で
矢印方向から取り付けます。
取り付ける向きに注意してください。



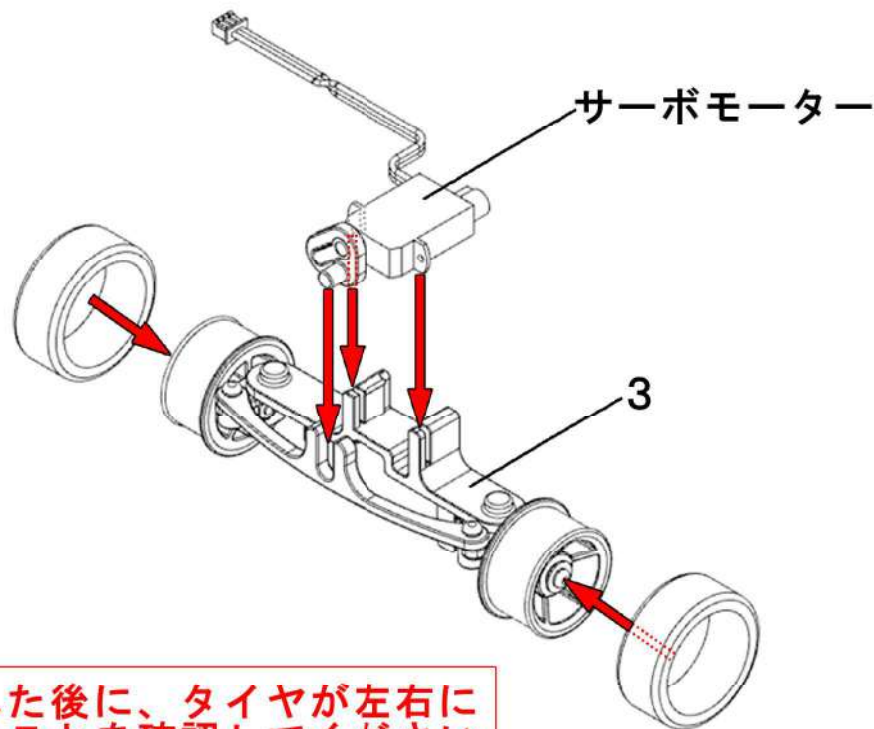
3

2にBをねじ小で取り付けます。



4

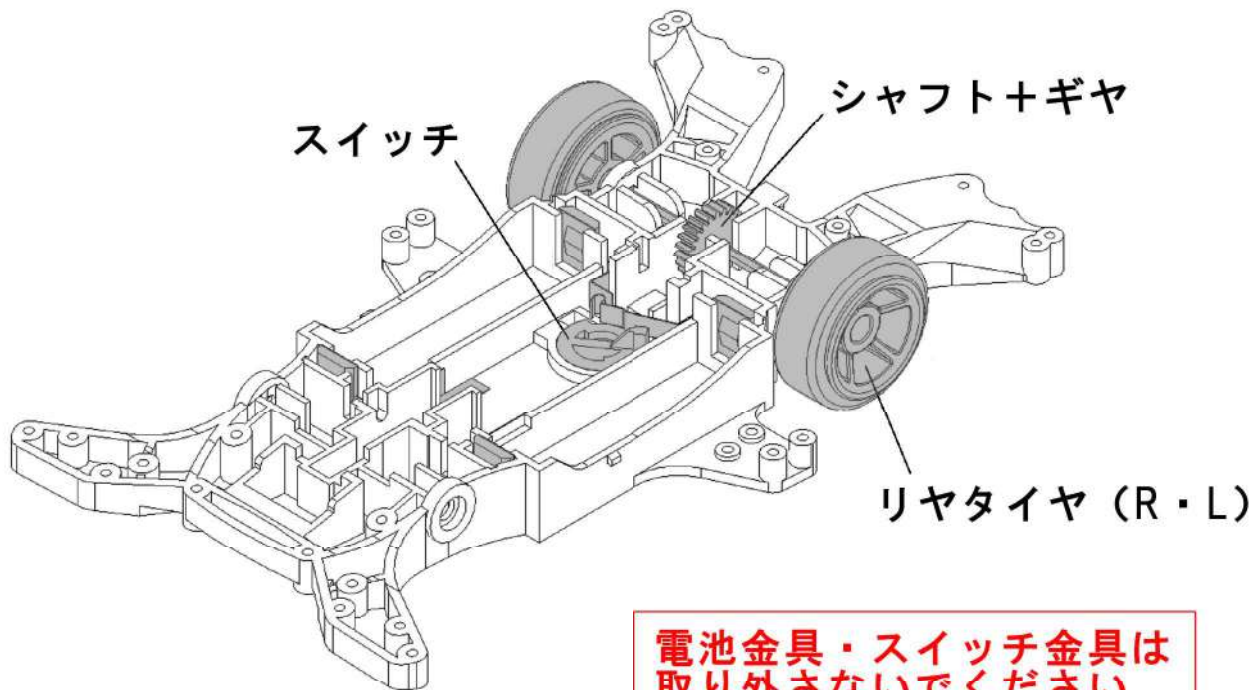
サーボモーターを3に取り付けます。
前輪から取り外したゴムタイヤも取り付けます。



組立てが完了した後に、タイヤが左右にスムーズに動くことを確認してください

5

下記絵になるようにシャーシから
部品を外します。

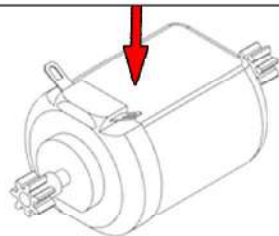


**電池金具・スイッチ金具は
取り外さないでください**

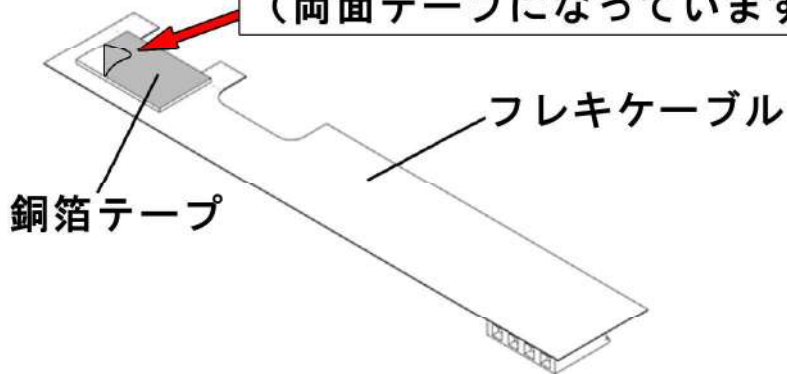
6

フレキケーブルについている
銅箔テープの紙だけを取ります。
モーター表面の油を拭き取り、
モーター端子を30度程度に立ち上げます。

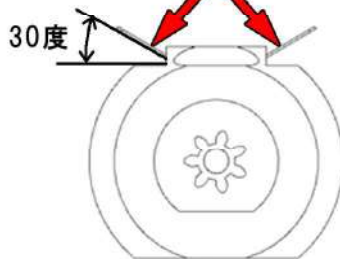
ウェットティッシュ等で
モーター表面の油を拭き取ります



表の紙だけを剥がします
(両面テープになっています)

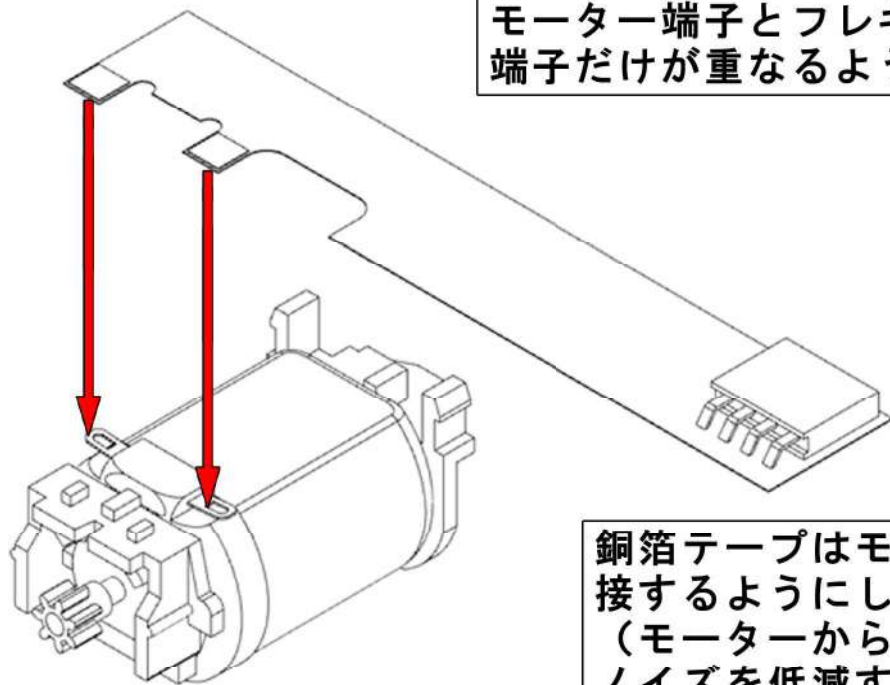


30度程度まで立ち上げます



7

フレキケーブルの端子をモーター端子に合わせて貼り付けます。

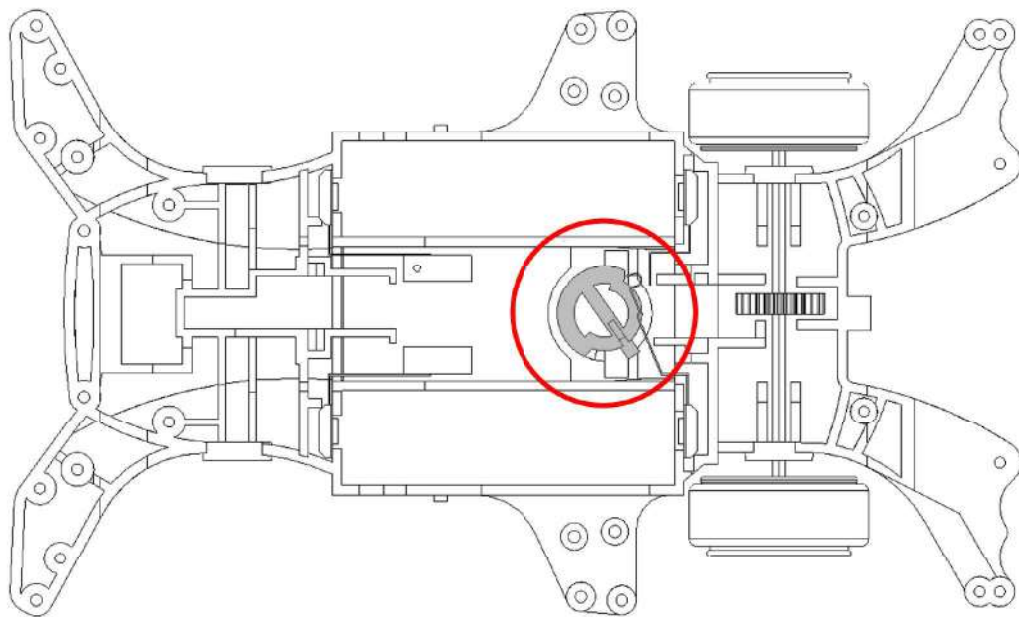


モーター端子とフレキケーブルの端子だけが重なるように貼り付ける

銅箔テープはモーターに接するようにしてください
(モーターから発生するノイズを低減する役割があります)

8

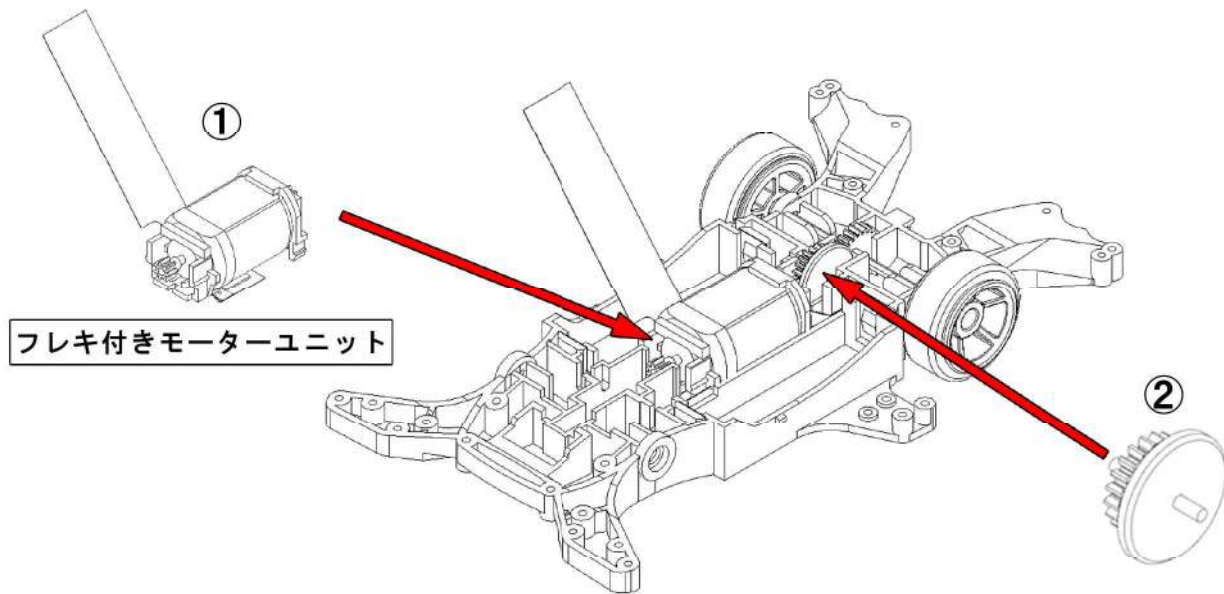
スイッチをOFF向きにシャーシに取り付けます。



正面 (フロント) ← 背面 (リア)

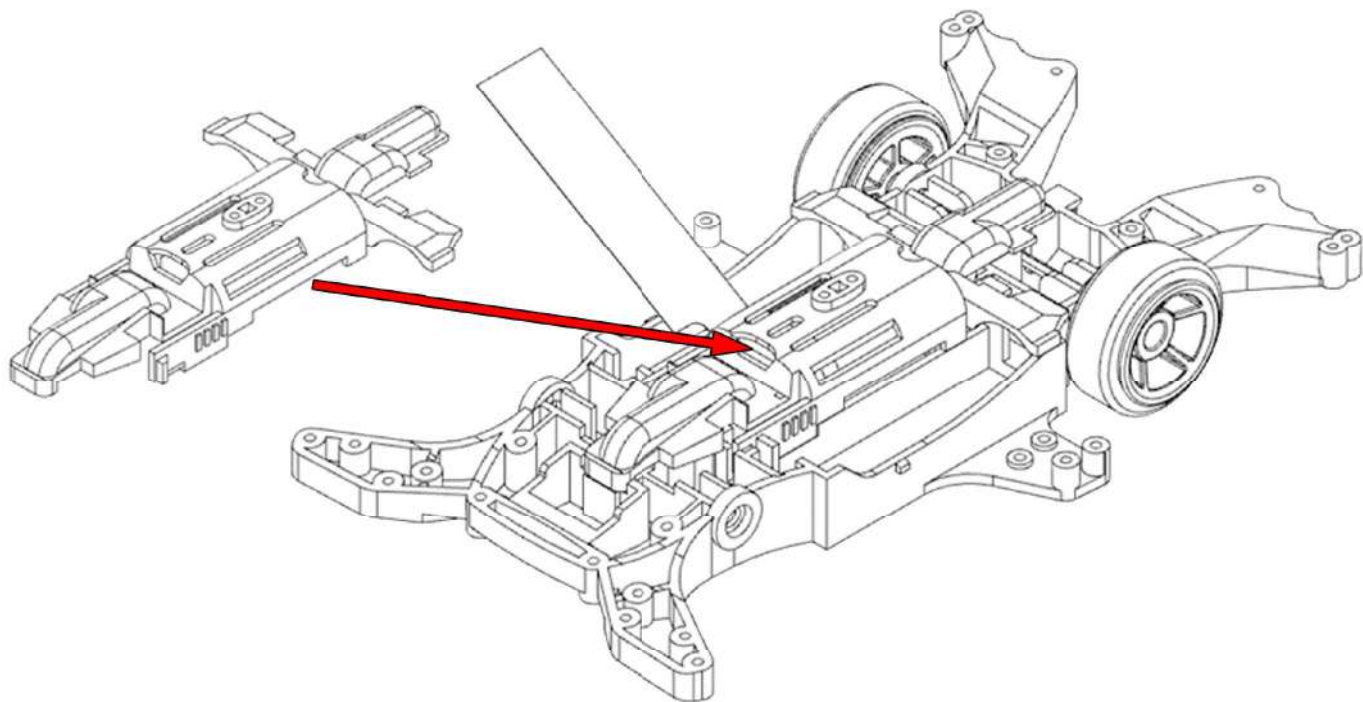
9

- ① : フレキケーブル付きのモーターユニットを取り付けます。
- ② : 前に取り外したリア側のギヤを取り付けます。



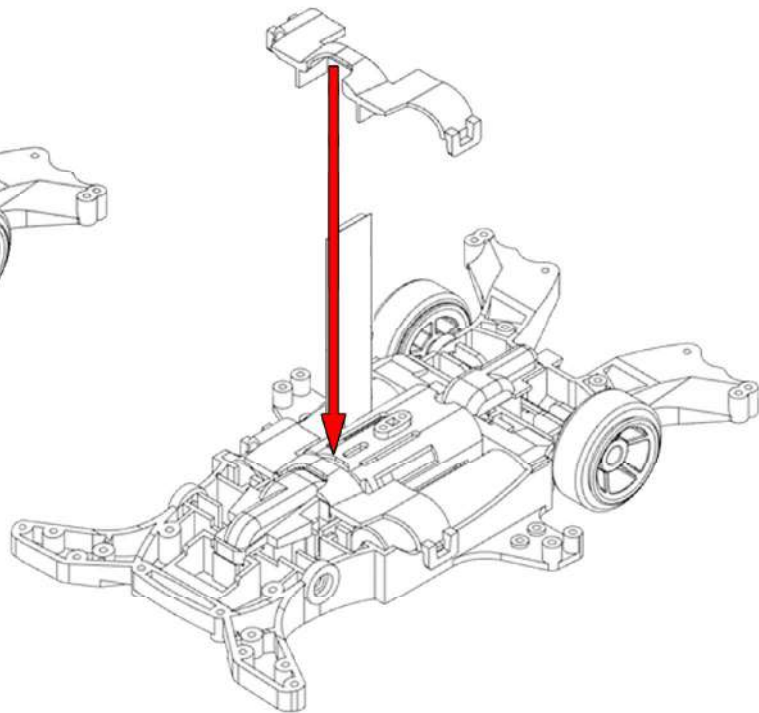
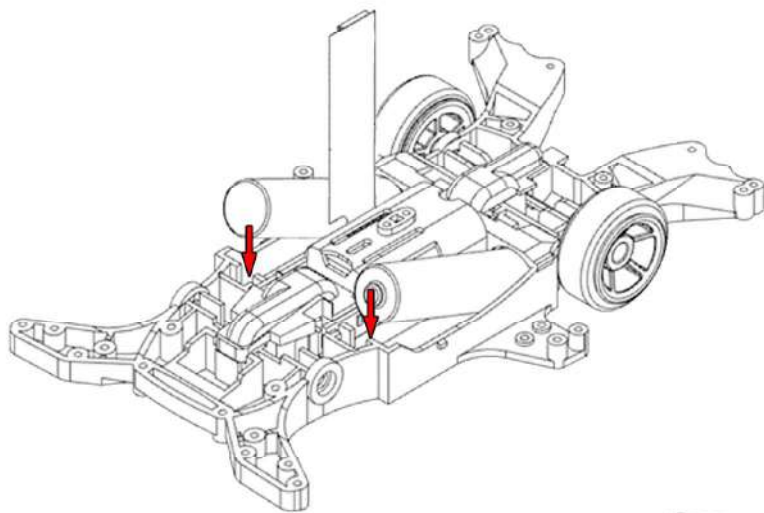
10

ギヤボックスを取り付けます。



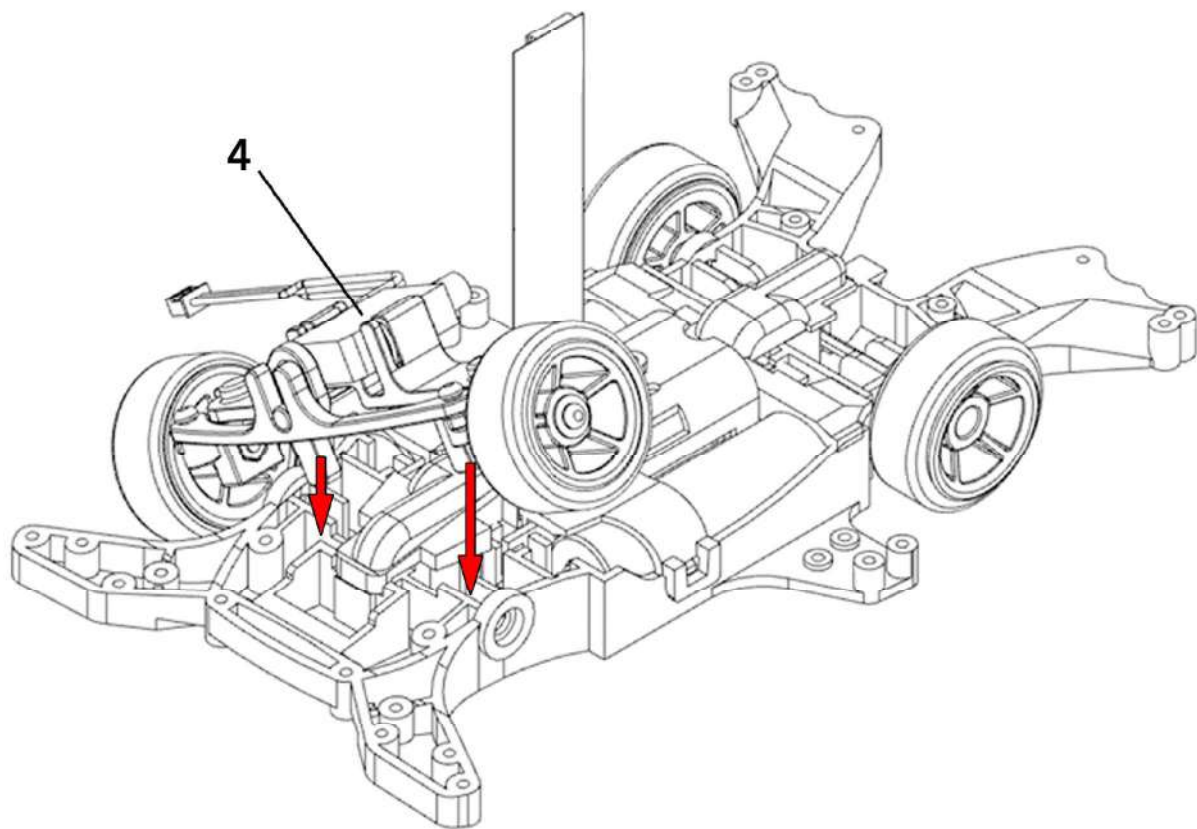
11

フレキケーブルが電池よりモーター側にくるように電池を取り付けます。
この時、外しておいた電池カバーを再び取り付けます。



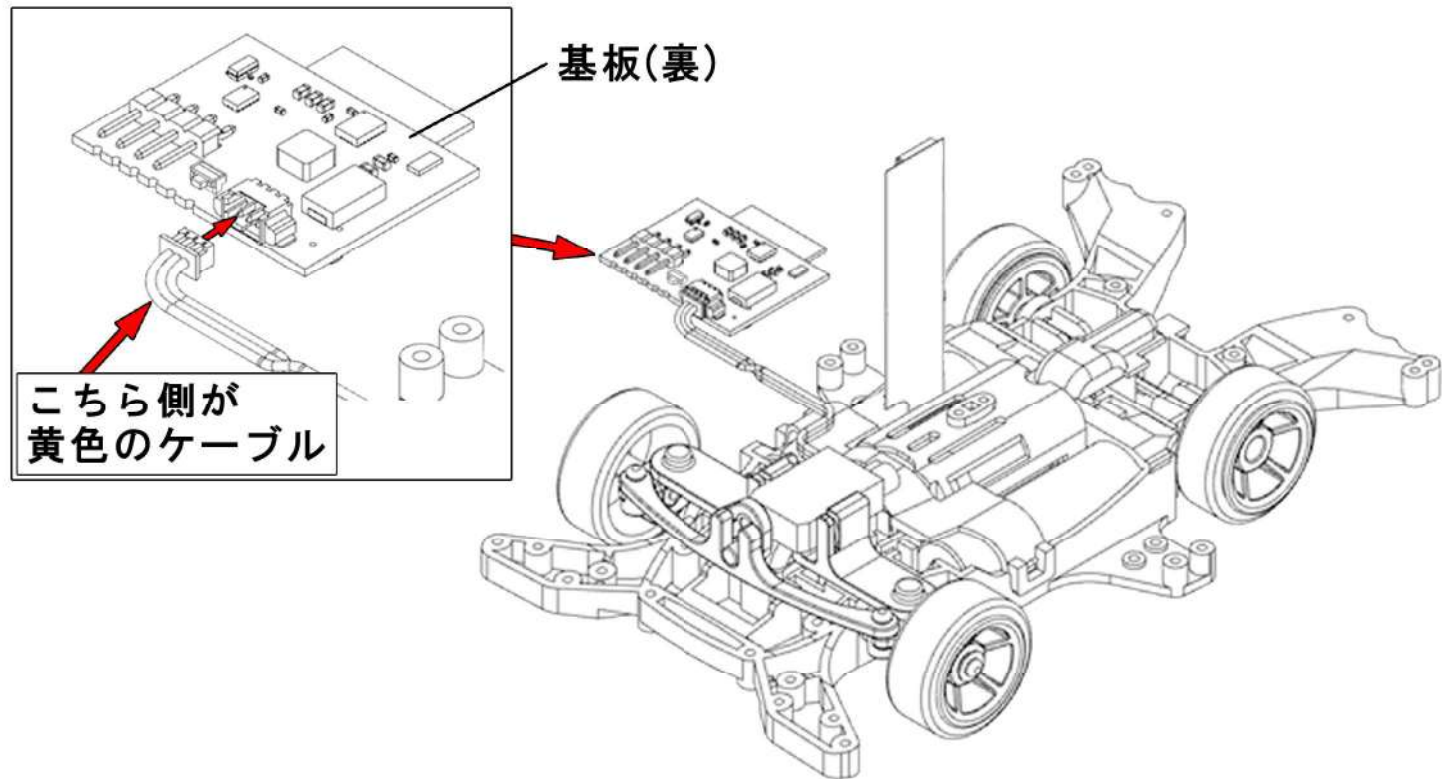
12

4で組み立て済のステアリングユニットを取り付けます。



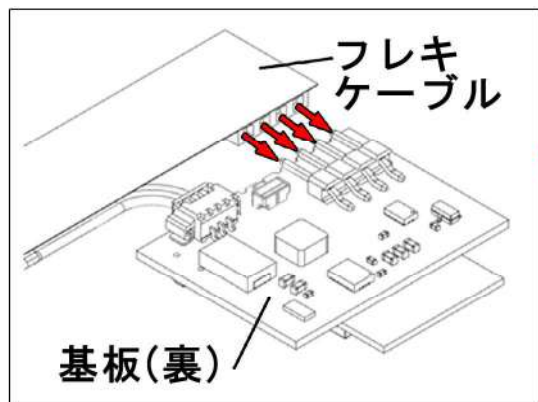
13

サーボモーターのコネクタを基板に取り付けます。
ピンの向きを合わせて取り付けてください。

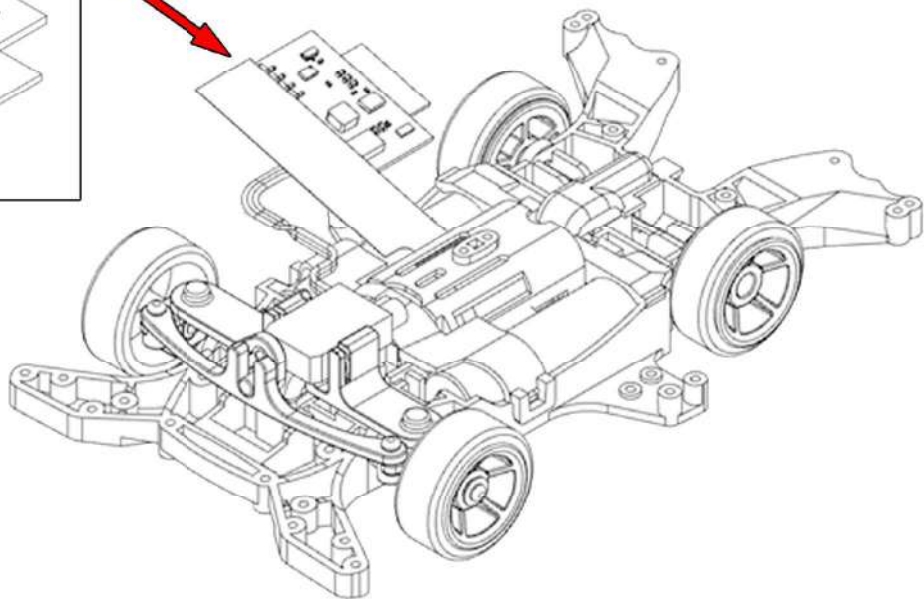


14

フレキケーブルを基板に接続します。
基板接続時には電源を入れないでください。

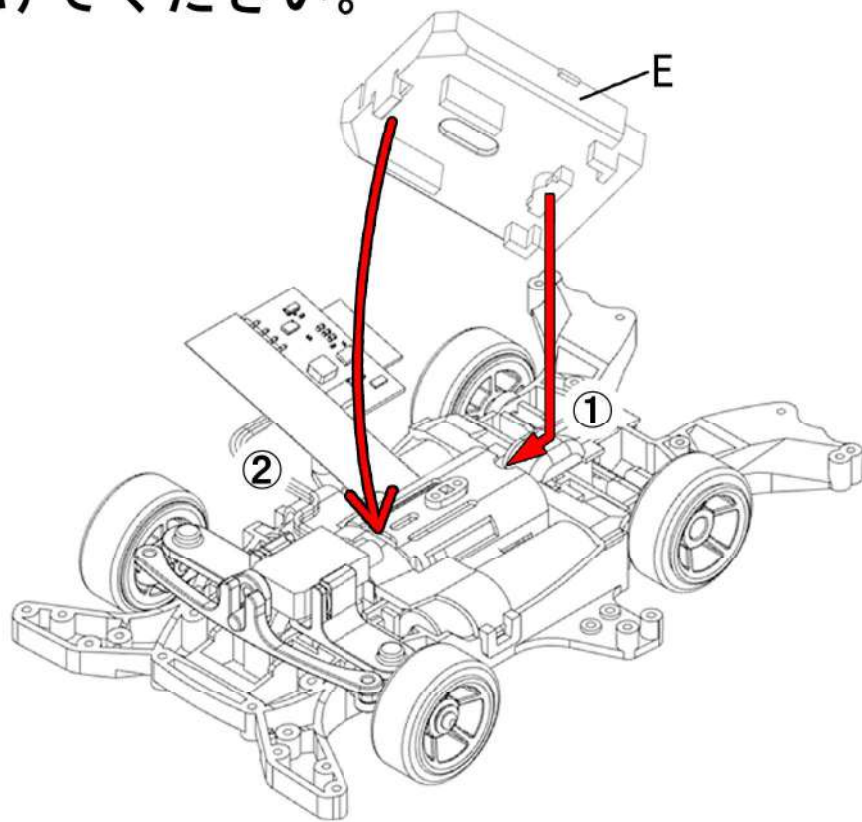


注意！) フレキケーブルは
折り曲げないでください



15

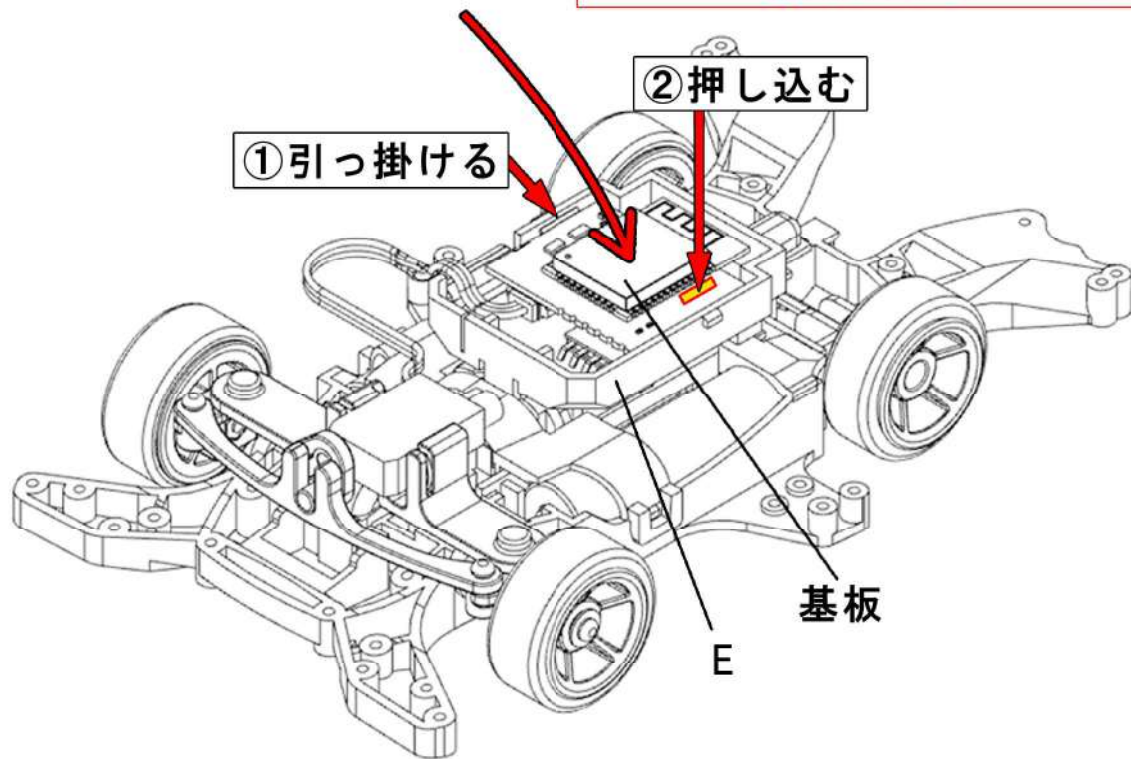
Eを形状に合わせて①→②の順に取り付けます。
フレキケーブルを避けるように
取り付けてください。



16

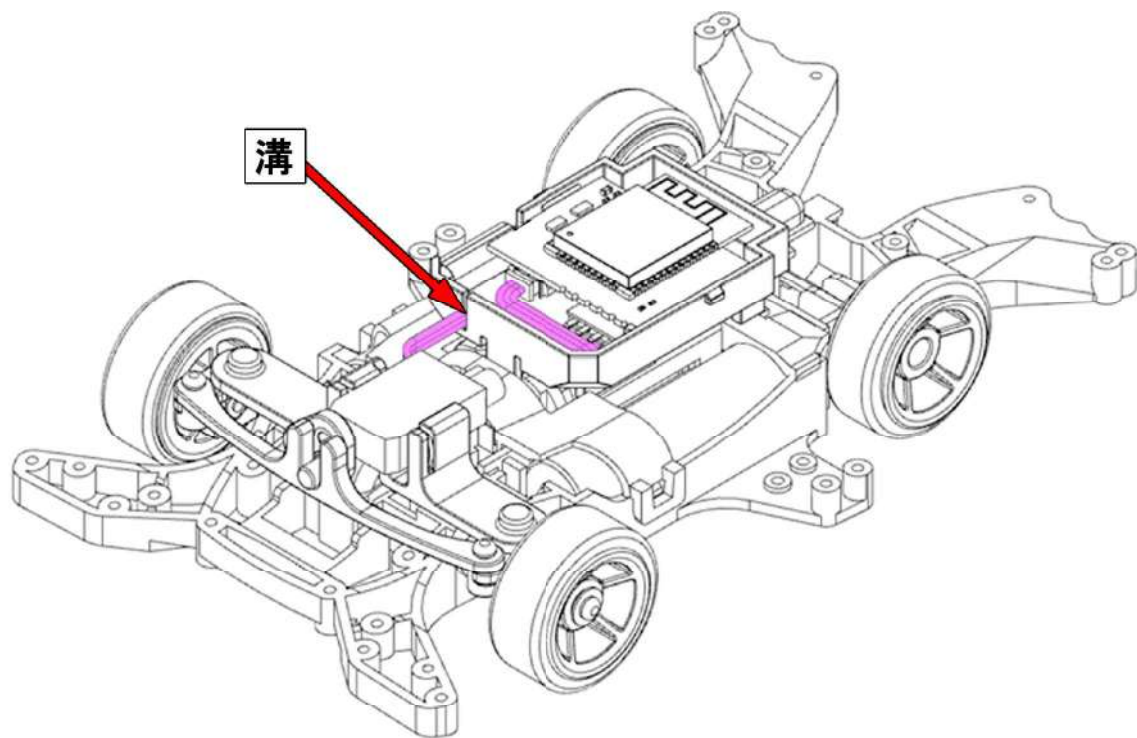
基板をEに取り付けます。

注意！) フレキケーブルは
折り曲げないでください



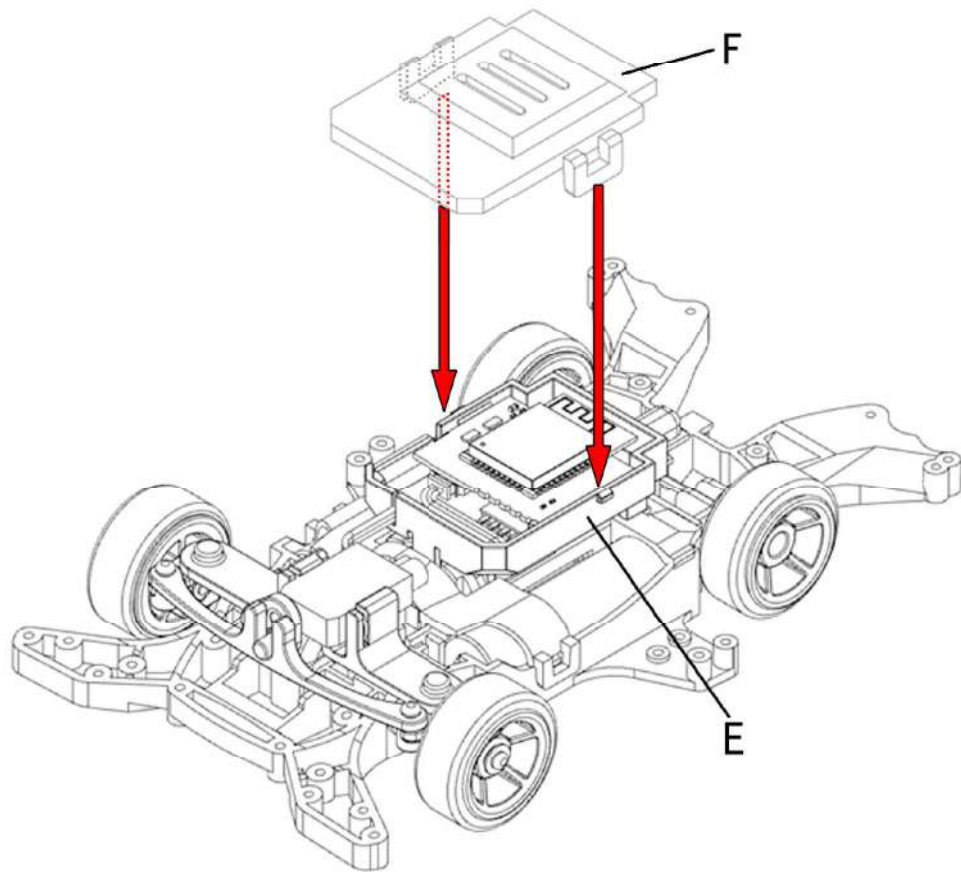
17

余っているサーボモーターのケーブルをEの溝に嵌め込んで固定します。



18

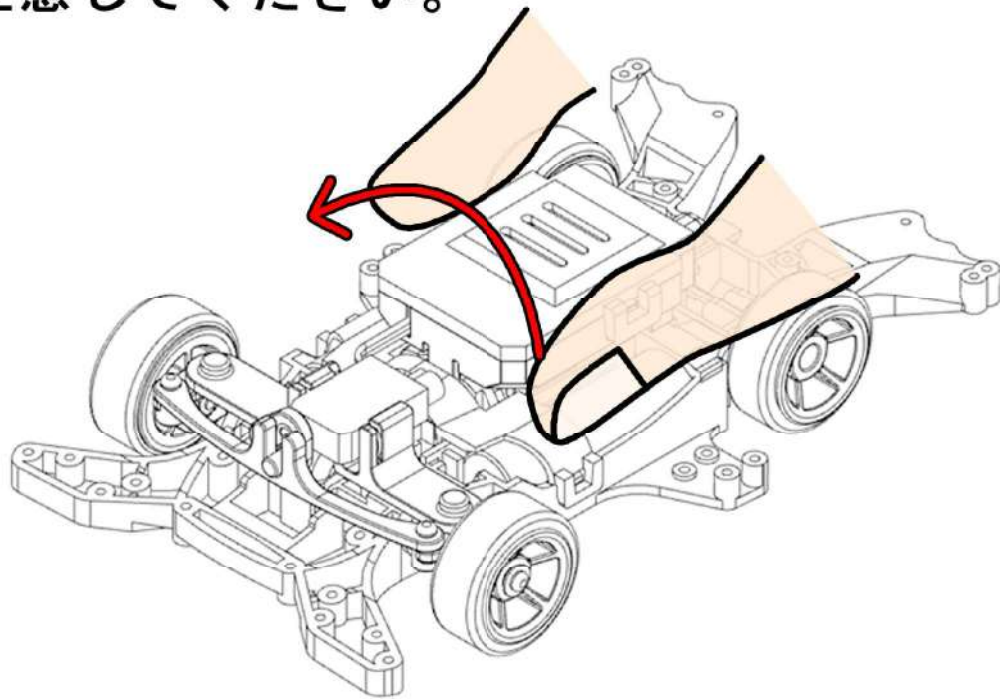
EにFのツメを合わせて取り付け完成です。



19

ケースの外し方

図のように横から持ち上げて外します。
フレキケーブルやサーボモーターのケーブルに
注意してください。



20

ステアリングの外し方

図のようにタイヤの下に力を加え横から持ち上げて外します。
サーボモーターのケーブルに注意してください。

